



RI テーマ **Rotary Serving Humanity**
人類に奉仕するロータリー

クラブテーマ 『多様性そして和』

2016-2017

会報 No. 990 豊橋東ロータリークラブ

第 38 回例会

事務局：豊橋市花田町石塚 42 豊橋商工会議所内 TEL 0532-56-8566 FAX 0532-39-7520

会長：松下泰三 副会長：及部多高 幹事：平野正博 会報・雑誌委員長：鎌田哲也

平成 29 年 4 月 19 日(水) 12:30~13:30

例会場：ホテルアークリッシュ豊橋4F ザ・テラスルーム 担当：青少年奉仕

ロータリーソング「我らの生業」/「四つのテスト」 唱和：福井 知裕 さん

ロータリーの友読みどころ 4 月号紹介：川瀬 知幸 さん

ゲスト 桜丘高校 孫便りの会顧問 柴田 匡俊 教諭

出席報告	会員総数	計算会員	出席免除者数	欠席	出席率	4 月 5 日修正出席率	ビジター
	42 名	41 名	2 名	15 名	63.41%	75.00%	0 名

会長挨拶 松下 泰三会長

4 月 15 日(土)、新城 RC の創立 50 周年記念式典に、柳瀬副幹事と参加してきました。式典の様子、報告等を聞いて、新城 RC は、中学生、高校生への青少年奉仕活動にいろいろ取り組んでいることがよく分かりました。

祝賀パーティのアトラクションに、当クラブのホテル例会に呼んだ二胡、ギター、ピアノのトリオ“カトルボンボン”が来ていました。素敵な演奏が二度も聞けてなかなか良かったですよ。

本日のプログラム

『孫便りの会』と共催させて頂いた
 4 年間の東北支援ボランティア

桜丘高校 孫便りの会顧問 柴田 匡俊 教諭
 満田 稔さん/川原 元則 さん

川原 元則 さん 東北支援事業は、その時の在校生の一言で始まりました。この事業を継続できていることに感謝します。一つ目は、今の気仙沼の状況です。3 月にカレンダーをもって行ってきました。災害公営住宅が完成し、仮設から移動し生活を始めています。そのコミュニティーにふれあいセンターができていますが、鍵がかかって活用されていない状況です。二つ目は、明海荘の子供たちが桜丘を卒業し、今度は、中学 2 年生の気仙沼の子供さんが卒業式を見て桜丘に来たいということで編入してきました。三つ目は、今熊本に時間をつくっていています。東北支援で学んだ孫だよりの会の手紙交換、熊本でもコミュニティーづくりの為に初めて行きます。



柴田 匡俊 氏 4 年間プログラムを支援していただきありがとうございます。今年の東北事業は、

勉強に重きを置き事業を組み立てました。小学校高校を周り現在の地域がどのような状態か再確認してきました。というのも交流活動を通して震災の話聞いてきましたが、話と今の現場がなかなか一致しなかったため再確認を行いました。この 6 年間の活動を通して感じたのは、地域との固い絆で結ばれたことを感じました。このように素晴らしい関係を今後も続け、顔をだしてもらえる活動をこれからもしていきたい。今年も原点に戻り、手紙を送る活動から始めます。そして、被災した人々の事を忘れない活動をしていきます。



満田 稔 さん 桜丘の校風は、人に対し優しくを一番の目標にしています。校歌の中にも出てきますが、3 つの心を持ってほしいと教育しております。1 つ目は、奉仕の心 2 つ目は、正義の心 3 つ目は、平和の心 この 3 つの心を持つ子供を育てることを目標にしています。復興支援の始まりは、雲仙普賢岳の噴火の時に始まりました。生徒より復興支援活動をしたいと申し出があり動き始めました。孫だよりの会は、「仮設住宅でなくなっていくお年寄りを何とかしたいという気持ちからまずは、手紙の交流から始まりました。そして東北支援事業では、東 RC が共催頂いて東三河の高校生がかかわれる事業になりました。今まで活動を続けて思うことは、命を守ること、そして命があれば活動ができる。命の大切さを実感しております。そしてもう一つ、人間の DNA の中に自然と備わった地震への対応能力が潜在的ある事も実感しました。これからも原点に立ち回り、優しい活動をもっとしていきたいと思えます。



写真・原稿：西 崇秀 さん